

あい ゆう
と の福祉

しょうわ

あい… I (わたし)・愛情・助け合い・支えあい
ゆう… You (あなた)・友情・優しい

第81号

平成30年9月25日

社協だより



社会福祉法人
昭和村社会福祉協議会

〒379-1203 群馬県利根郡昭和村大字糸井624番地
TEL 0278-20-1126 FAX 0278-24-5161
E-mail showa-shakyou.1.10.2@bz01.plala.or.jp
ホームページアドレス <http://www.showa-shakyo.jp>

●認知症サポーター養成講座●



●ボランティアスクール●



●福祉体験ボランティア●



●福祉教育●



未来につなぐ
福祉のこころ

基本理念 私たちは、地域福祉を推進するために、地域の皆さんや関係機関と協力しあい、「誰もが幸せに」暮らせる福祉の村づくりを目指します。
(平成25年4月1日制定)

平成29年度事業及び決算報告

平成29年度昭和村社会福祉協議会は、社会福祉法人の役割と社会福祉協議会の使命を根底に基本理念に基づき、地域の方々や関係機関との連携強化、地域における様々な福祉活動支援など地域福祉を推進し、「誰もが幸せに」暮らすことができる福祉の村づくりに取り組むとともに住民の身近な組織として地域から信頼される社会福祉協議会を目指しました。

平成29年度単年度の収入総額は209,083,210円で、収入の主な構成については、介護保険事業収入が43%、事業収入が21%、次いで受託金収入が19%となつておられます。収入における前年度対比では、通所介護事業における収入が大幅に減額したこと等により介護保険事業収入が約949万円の減額となつた一方で、南学童クラブにおいて支援の単位数が増えたこと等により受託金収入が約1,040万円の増額となり、収入総額で約416万円の増額となりました。

支出については総額224,560,731円となりました。支出の主な構成については、人件費支出が58%、事業費支出が37%となつております。支出における前年度対比では、学童クラブ支援員の増員と非正規職員の処遇改善等により人件費支出が約679万円の増額、水道光熱費と燃料費の増額等により事業費支出が約528万円の増額となり支出総額で約1,269万円の増額となりました。

収入総額から支出総額を差し引いた平成29年度会計単年度の収支差額は▲15,477,521円となり赤字での決算となりました。なお、赤字部分につきましては、前年度繰越金を充当し運営をしております。

次に、平成30年3月31日現在の法人資産の状況ですが、総額で139,951,335円、前年度対比16,476、855円の資産減少となりました。

このように平成29年度決算に關しては、大きな赤字となり非常に厳しい内容となりました。今後の経営方針については、第2次発展強化計画に基づき、既存事業の収入増加及び新規事業の収入確保、民間の助成事業の有効活用、経費の効率化、公費財源の増額を望等について、引き続き取り組みを行つていきます。また、大きな減収となつた介護保険事業についても、各種加算を算定するとともに、PFI法の検討、隔年で実施しているお客様満足度アンケート調査に基づく改善課題への取り組み等を行つていきます。

経営状況を真摯に受け止め健全な財務運営が図れるよう役職員一丸となつて努めて参りますので、引き続き皆様のご理解ご協力ををお願い申し上げます。

【事業概要報告】

総務地域係

在宅福祉係

訪問介護

決算額 88,091,432円

法令を遵守しながら要介護者・要支援者及びご家族の方々との信頼関係を大切にして利用者個々のニーズに適切に対応したサービス提供を目指しました。

法人運営部門 決算額 21,257,722円

地域に親しまれる団体として適正で開かれた法人の運営を組織的に行いました。

理事会・評議員会・監事會・正副会長会議・委員会・係長会議の開催、人事・財務管理、事業・業務の効率化の推進など

地域福祉部門 決算額 35,707,761円

地域の皆さんへの参加・協力による助け合い、支え合いの福祉活動を開催しました。

災害時における取り組み内容の検討、ボランティアの育成及び活動推進(ボランティアセンターの運営)、福祉団体の活動支援、高齢者の生きがいの充実及び社会参加等福祉の増進(シルバーセンターの運営)、小地域福祉活動支援の充実(ふれあい・いきいきサロンの推進)、包括的支援事業(生活支援体制整備事業)への対応、共同募金会事業、広報啓発活動など

災害ボランティア養成講座



理事会

介護保険部門 決算額 1,396,530円

利用者個々のニーズを的確に把握し、そのニーズに合わせたサービス提供を目指します。

訪問入浴介護事業：実績なし（平成29年度末日で廃止）

障害福祉サービス部門 決算額 1,396,530円

訪問介護事業

居宅介護

在宅福祉サービス部門 決算額 3,168,992円

関係機関との連携を密にしながら、社会福祉協議会として地域住民に信頼されるサービス提供を目指しました。

食の生活自立支援事業



訪問介護

学童保育部門 決算額 31,901,994円

児童や家庭に対し分けへだてなく保育を行い、豊かな愛情を持つて接し児童の健全育成に努めました。

東学童クラブ、南学童クラブ、大河原学童クラブの管理運営

：延べ利用児童数27,884人



和風園呂



在宅福祉サービス部門 決算額 43,036,370円

利用者の意見や社会の変化に合わせ柔軟で迅速な対応を行い、皆に愛される施設を目指しました。

福祉センター昭和の湯部門 決算額 43,036,370円

利用者の意見や社会の変化に合わせ柔軟で迅速な対応を行い、皆に愛される施設を目指しました。

昭和の湯の管理運営

：入館者数の7,100人



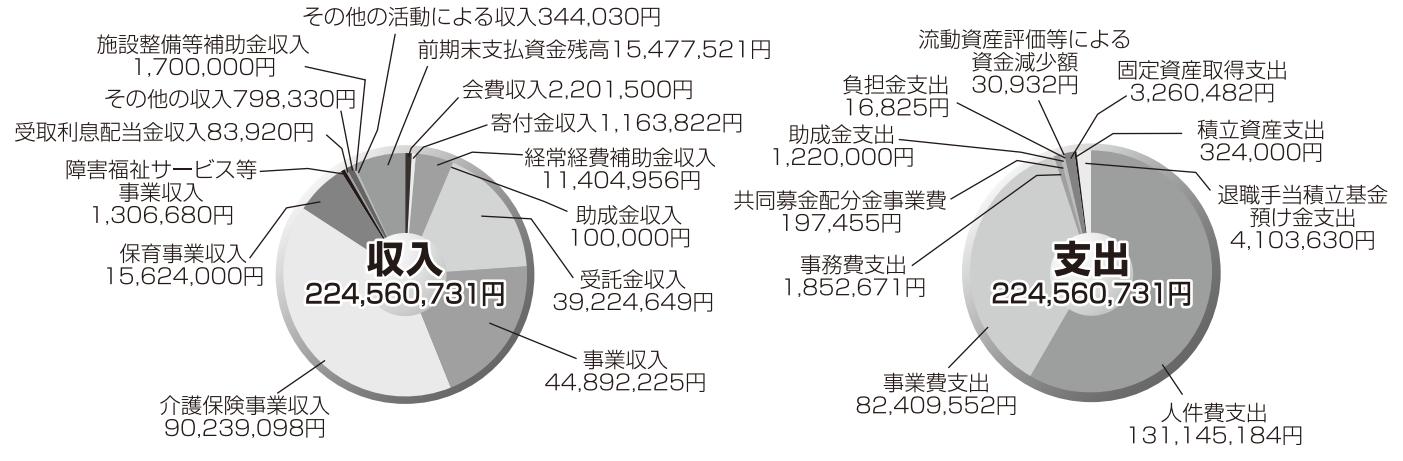
和風園呂



～決算概要報告～

資金収支決算書

※単年度決算で内部取引は除く



貸借対照表

平成30年3月31日現在 ※内部取引は除く

(単位:円)

資産の部(借方)	平成29年度末	平成28年度末	増 減
流動資産	56,218,688	67,332,496	▲11,113,808
現金預金	21,478,559	36,239,047	▲14,760,488
事業未収金	33,131,684	29,325,186	3,806,498
立替金	1,591,645	1,751,463	▲159,818
前払費用	16,800	16,800	0
固定資産	169,623,143	164,365,477	5,257,666
基本財産	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	168,623,143	163,365,477	5,257,666
資産合計	225,841,831	231,697,973	▲5,856,142

負債・純資産の部(貸方)	平成29年度末	平成28年度末	増 減
流動負債	22,252,466	17,888,753	4,363,713
事業未払金	18,028,951	15,658,526	2,370,425
預り金	4,190,005	2,230,227	1,959,778
前受金	33,510	0	33,510
固定負債	63,638,030	57,381,030	6,257,000
退職給付引当金	63,638,030	57,381,030	6,257,000
負債の部合計	85,890,496	75,269,783	10,620,713
基金	1,000,000	1,000,000	0
基金	1,000,000	1,000,000	0
国庫補助金等特別積立金	1,944,056	472,610	1,471,446
国庫補助金等特別積立金	1,944,056	472,610	1,471,446
次期繰越活動増減差額	29,455,287	47,403,588	1,471,446
次期繰越活動増減差額	29,455,287	47,403,588	▲17,948,301
(うち当期活動増減差額)	▲17,948,301	▲7,378,167	▲10,570,134
純資産の部合計	139,951,335	156,428,190	▲16,476,855
負債及び純資産の部合計	225,841,831	231,697,973	▲5,856,142

「わっしょい♪」

わせて「夏祭り」と称して施設内で職員手作りの天狗「わっしょい♪ピッピッ♪」のかけ声と共にフロア内に、盛大に盛り上りました。



平成30年度シニア傾聴ボランティア養成講座を開催しました！

5月10日(木)・17日(木)・24日(木)の全3日間、昭和村活性化センターにおいてシニア傾聴ボランティア養成講座を開催しました。講師にホールファミリーケア協会の山田氏をお迎えし、講義やロールプレイを通して傾聴について楽しく学ぶ事ができました。今回受講された方の今後の活躍に期待します。

傾聴とは？

人の話をただ聞くだけではなく注意を払って、より深く丁寧に耳を傾けることです。自分の聞きたいことを聞くのではなく、相手が話したいこと、伝えたいことを受容的・共感的な態度で真摯に「聴く」行為です。傾聴ボランティアとは、介護施設や高齢者の自宅などを訪問して話をきくボランティアです。高齢者が話したい話をして、悩みなどを打ち明けることによって気持ちの整理をしてもらうことです。

学童合同保育



8月6日(月)、昭和の湯にて村内3学童合同で夏休みイベントを開催しました。当日は110名の子どもたちが参加しました。

午前中は、群馬ヤクルトの方を講師に迎え、「おなか元気教室」と題して食育教室を開催していただきました。身体のつくりや健康のことなどとても勉強になる話をいただき、子どもたちも真剣に話を聞くことができました。

午後は、お楽しみ発表会と身体を動かすゲームを楽しんだ後、夏祭りの屋台風イベントを行いました！かき氷、ポップコーン、パンの食べもの屋台に、ぼうずめくり、射的、福引きのゲーム屋台の6つの屋台を出しました。色々なところで歓声が上がり、みんなとても楽しんでくれました！！



食レク最高!!



昭和村デイサービスセンターでは、年に数回、食レク=食事レクリエーションとして食べることの楽しみを持っていただけるよう実施しています。今回は「麺・天ぷらバイキング」。麺はうどん・そうめん・そばの3種類、天ぷらはなす・さつまいも・キス・大葉・かき揚げ・ササミ・ピーマンの中からご利用者様に好きな物を選んでもらい召し上がっていただきました。ご利用者様から「うれしい！いっぱい食べちゃう」などの声も聞かれました。喜んでいただき、職員もうれしいです。

今年もみんなで 御神輿

昭和村デイサービスセンターでは、沼田まつりに合わせて御神輿を担ぎました。「わっしょい♪ピッピッ♪♪」を練り歩きました。ご利用者様は昭和の湯の半被を纏って、お祭り気分で参加されました。



高齢者ふれあい交流会

8月20日(月)に高齢者ふれあい交流会を開催し、24名の方が参加されました。午前中は職員によるぼうずめくり・文字並べ替えのレクリエーションを行いました。昼休みにはボランティア協議会本部役員、赤城原・追分・赤谷地区会員の手作りのお弁当を食べ、お風呂に入られる方等ゆったりとした時間を過ごしました。

午後は第一保育園の園児16名のお歌やお遊戯発表を楽しみ、歌にあわせて身体を動かす手遊びでは園児も参加者も笑顔あふれる交流となりました。

ひとり暮らし等高齢者ふれあい交流会及び温泉保養事業につきましては、次回は温泉保養事業になります。お近くの民生委員の方からご連絡等ありましたら、是非ともご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。



*訪問介護事業所 (ホームヘルパー)

「暮らしサポート応援事業」が
はじまりました！

この事業は、介護保険法に規定される訪問介護事業の該当とならない家事や介護、その他サービスを行い、住み慣れた家で生活を続けることをサポートする事業です。



◆サポート内容の例

- ◆ 食事や掃除などの家事全般、大掃除、庭の手入れ、雪かき、入浴・排泄・更衣の介助、病院内での付き添い、お話相手、娯楽相手、ペットの散歩など
- ※ 営利活動、宗教活動、反社会的勢力活動及び関係法令に抵触するサービスは対象外

◆利用できる方

- 社会福祉協議会昭和の里介護保険サービスまたは地域在宅サービスを利用している方（別途利用申込が必要）

◆利用料金

30分まで800円、60分まで1,500円
(月に1人あたり3時間、1日あたり1時間まで)

※詳細については社会福祉協議会までお問い合わせください。

生活支援体制整備事業がはじめました！

今後の社会は、高齢者の方がいつまでも住み慣れた家（地域）で元気に暮らすために生活支援や介護予防など様々な活動の充実や推進が求められています。

生活支援体制整備事業は、私たちの暮らしの昭和村の将来が高齢者にとって生活しやすい環境であるために「助け合い活動」「見守り活動」「通いの場」などの推進を私たち自身で考え、行動をする事業です。そのために、地域のみんなの力を結集する新しい取り組みとして協議体と「生活支援コ-ディネーター」を設置しその推進役を担っておりまます。

なお、昭和村においては、平成30年度からこの生活支援体制整備事業を昭和村より社会福祉協議会が受託をし実施しています。

協議体

：助け合い活動・通いの場など地域の様々な活動の充実推進を図るために定期的な情報共有・連携強化の中心となる場で一緒に考え行動をするメンバーです。

生活支援 コ-ディネーター

：地域の様々な活動の充実を図るために、地域における調整機能を担います。



協議体構成員

民生委員児童委員協議会副会長 ゆずりは管理者	布施廣一（会長）
老人クラブ連合会副会長 婦人会会長	野田勝也（副会長） 杉木哲一
ボランティア協議会副会長 きずなサポート副会長	沢浦典子 七五三木久子
商工会経営指導員 昭和の里管理者 菜の花館施設長	大竹朝子 綿貫文明 池内直美 松井信也
区長会会長 保健福祉課課長補佐 地域包括支援センター係長 生活支援コ-ディネーター	諸田裕一 小野一志 関新木卓巳 寿樹

善意銀行

(5月~8月)

社協に寄せられた善意の心 ありがとうございます

一、金20,000円 … 昭和歌謡会様
一、金19,721円 … 昭和の湯受付募金箱寄付者様



昭和歌謡会様

エコキャップの収集報告

ご協力 ありがとうございました

5月~7月分 105^回(約45,150個)
ワクチン 26.3人分
累計 2,031^回(約873,330個)
ワクチン 813.5人分

社会福祉協議会では、ペットボトルのキャップを集めることにより、発展途上国の子ども達にワクチンを届けるボランティア活動を通じ、地球の環境保全と世界の子ども達の命を守ろうとするエコキャップ推進運動に取り組んでいます。

福祉センター花壇整備

6月11日(月)、フラワーメイト昭和会の皆様が福祉センターの花壇整備を行ってくれました。この奉仕作業は平成11年度より続いており、赤サルビアの苗が植えられました。お近くにお立ち寄りの際は是非ご覧下さい。



ちゅうと一言…

「かけた恩は水に流せ、受けた恩は石に刻め」
山口県の行方不明2歳児を見つけ出したスーパー・ボランティアの尾島さんが、テレビでこんなことを言つっていました。偽善でも高慢でもなく、心からそう言つているのだろう、ということが伝わってきました。歴史上の偉人が共通して得意なこと、それは「人に施しを与えることができる」と聞きました。自分の知識や経験、与えられるものやシェアできるものを周囲に贈ることができるのはまさに偉人だと思いました。私の話になりますが、このところ新しい仕事に追われて切羽詰った日々を過ごしていましたが、職場の上司や先輩や同僚にたくさんの優しさを与えてもらいました。知識を与えてもらいました。経験を話してもらいました。本当に救われました。涙が出るほど嬉しい思いをしました。この思いは私の心の石に深く刻まれ、忘れる事はないと思います。私もこの幸せをさつく誰かにシェアしようと思います。

(K)

クイズ 福祉の用語

問題 Q

すべての人を個人として尊重し、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、共に生きる人間の育成を目指す教育活動を何というでしょう？

地域で暮らす児童・生徒が身近なところで暮らしている高齢者、外国人、ひとり暮らしの人等さまざまな生活や生き方があることに気づき、福祉問題、福祉活動の意味や役割に関心を持つことがこの活動の意義です。

ヒント：福〇〇育

応募規定

- 官製ハガキに答え、住所、氏名、年齢、職業、社協へのご意見・ご質問等を必ず書いて送って下さい。
- 昭和村居住、勤務の方に限ります。
- 正解の中から3名の方に「昭和の湯」利用回数券(2,000円券)を差し上げます。
- 発表は発送に替えていただきます。
- 締め切りは10月31日(水) ※当日消印有効

あて先 〒379-1203 昭和村大字糸井624番地
昭和村社会福祉協議会「社協だより係」まで

